

閉会中の議会活動報告

委員会が行政視察を行い、所管事務について先進地の事例を学びました。

行政視察（建設経済厚生常任委員会） 令和8年8月17日～8月18日

◆ 福岡県嘉麻市（令和8年8月17日（月）13：30～15：00）

≪ 視察項目：廃校利用について ≫

少子化に伴う廃校の利活用と地域活性化のあり方を学ぶため、旧足白小学校を改修した複合施設を視察しました。当施設は、校舎を宿泊・農業体験施設「足白農泊施設カホアルペ」に、体育館をボウリング施設「K-WALL」として一体的にリノベーションし、観光と交流の拠点を目指して整備されたものです。

カホアルペ（令和2年開業）：

客室17室の宿泊施設やシェアキッチン、ホールを備え、地元の食材を活かした食事やイベントなどを提供。宿泊者数は令和2年度の524人から令和7年度には3,301人へと順調に増加し、地域住民の交流拠点としても大きな役割を担っています。



K-WALL（平成30年開業）：

初心者から競技者まで楽しめる屋内クライミング施設です。コロナ禍の影響はあったものの、現在は年間6千人から7千人台の利用があり、一定の集客力を維持しています。



◆ 福岡県田川市（令和8年8月18日（火）10：00～11：30）

≪ 視察項目：廃校利用について ≫

小中学校の統廃合に伴う旧猪位金小学校の廃校利活用に関する視察を行いました。人口減少や地域経済の停滞に対応するため、「音楽を中心とするコンテンツ産業の創出・集積」を掲げ整備されました。市が所有権を維持したまま、事業者へ20年間無償貸与するコンセッション方式を採用して運営されています。施設では、レコーディングスタジオ、シェアオフィス、ホテル、多目的利用などが展開され、雇用創出や年間1万人以上の利用など関係人口の創出に効果を上げています。



このほかにも行政視察を実施して、先進地の事例を学んでいます。
詳細は市議会ホームページに掲載していますので、QRコードから
アクセスしてぜひご覧ください。

